

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第54号

ななえ古写真物語 VOL. 54

甘藍と蝶

「七重官園写真帖」より

明治10年頃

本町地区



上の写真は、明治10年頃に七飯町で栽培されていたキャベツ畑の様子です。大きく葉をひろげ並んでいる姿がわかるのですが、残念ながら季節の特定までは出来ませんでした。

キャベツは現在、家庭の食卓でよく見られる食材ですが、七飯町では、明治6年に七重官園で、米国から種子を導入したのがはじまりと考えられます。このことは、明治18年に刊行された『開拓使事業報告第三編』に記されており、「キャベツ」ではなく「甘藍」と漢字標記されています。また、当時キャベツは「カイベツ」とも呼ばれていたようで、水気が多く青臭いといった理由から、栽培当初はあまり日本人に好まれなかったという話も耳にします。

七重官園では風土に適する作物を選び、そしてその種を民間へ売るためとして蔬菜栽培を始め、明治6年にはキャベツと馬鈴薯を、翌年は三河島菜やカボチャを栽培。その後、スイカや玉ねぎ、スパイスにもなる白芥子（ハクガイシ）や胡蘿蔔（にんじん）などが栽培されました。わかりにくいと思いますが、実はキャベツが並んでいるエリアのさらに奥や右側には、別の作物が植えられていることから、複数以上の蔬菜が栽培されていたと推測できます。

また、左上側に写る樹木の合間から姿を覗かせている建物が家畜房である事から、この場所が現在の本町地区に相当し、北斗市側から横津連山に向かい撮影されたものとわかります。

ところで、キャベツ栽培の話をしていると、個人的に気になるのは、モンシロチョウの存在です。この蝶はもともと日本にいなかったとされ、キャベツやブロッコリーなどのアブラナ科の植物を食草としているため、家庭菜園で無農薬だと酷い食害にあうことがあります。もしかしたら、明治期のキャベツの導入とともにモンシロチョウが全国に広がったのではないかと考えていたのですが、よく調べてみると、どうやらそれ以前から日本にいたようで、奈良時代に導入した大根とともにやってきたとか、集団移動によって海を渡ってきたとか諸説あることがわかりました。ということは、上の写真の時代にはもうすでにモンシロチョウがいたという計算になります。現在、同じく外国から侵入したオオモンシロチョウによって、モンシロチョウの姿をあまり見ることはなくなりました。これも時代の移り変わりなのでしょうが？

ここでお願いなのですが、蝶の話を書く為にこの写真をセレクトした事はどうかご内密に！

12日

大沼森林公園をフィールドに春の探鳥会を実施しました。早朝6:30から、3人の講師先生の案内で、3グループに分かれ観察を始めたのですが、強風・小雨・低温の3拍子揃ってしまい、これまで開催した春の探鳥会の中で、最も過酷な時間でした。

それでも、アカゲラやオオルリ、キビタキなど約40種の野鳥を観察できました。寒い中、参加くださいました皆さん、どうもありがとうございます。



13日

大中山小学校周辺を散策しながら桜の花を観察する「ななえの観桜会」を開催しました。

講師に桜守の浅利政俊氏をお招きし、染井吉野や関山、糸括など10種以上の品種について、その見分け方や特徴を解説して頂きました。当日は暖かな日差しに恵まれ、格好の散歩日和となり、参加者の皆さんには楽しんで学んで頂いたようです。

見慣れた景色に多くある桜ですが、品種名がわかると、また違った風景に見える気がした一日でした。



26日

ジュニア探検クラブで「農業に挑戦！」と題し、男爵薯を植えました。

七飯町は、日本における近代農業発祥であることを学んだ後、人海戦術で畑づくりを始めます。石拾いや雑草とりをして、歴史館で収蔵しているプラウとハロー、そして回転馬鍬を使って、畑おこしをしました。はじめは、子ども達でプラウを引っ張っていましたが、友の会の協力で、車でプラウを牽く実践も・・・。

午後から、種薯を観察してスケッチを描き、芽欠きをして畑に植えました。秋には収穫の予定です。ちゃんと育つか？



クワも使ったよ！



イモの観察中。



ちゃんと育てよ！

1	日
2	月
3	火
4	水 夜の博物館
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木 企画展OPEN予定
13	金
14	土
15	日
16	月 海の日
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日 昆虫採集教室開催予定
23	月
24	火
25	水
26	木 ジュニア探検クラブ
27	金
28	土
29	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
30	月
31	火

7月の休館日はありません。

錆び落とし作業

当館友の会の皆様に、収蔵資料の「押切」や「水田除草機」の錆び落とし作業をしていただきました。忙しい中ありがとうございました。



編集後記 ~tawagoto~

当館では5人目の職員(?)となるエゾサンショウウオを飼育し始めた。先日、職員に名前を募集したところ「さんちゃん」や「さんぞう」などいくつか提案してくれたのだが、自分は「さんたろう」とか「さんのすけ」と呼んでいる始末。頭文字に「さん」が使われていることは共通するが、いまだに名前が決まらない。そんな私たちに構わず、サンショウウオはすくすく育ち立派な足が生えてきた。やばい、早めに名前を決めなくては。(やまだひさし)

Richart ~ピチャリ~ 第54号

平成24年6月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp